

平成22年度  
特定非営利活動法人さわおとの森  
事業報告

平成22年度事業報告について	P 1
平成22年度活動計算報告について	P 26
平成22年度財産目録について	P 30
平成22年度貸借対照表について	P 32

## 平成22年度 特定非営利活動法人さわおとの森 事業報告

### I. 事業の成果

当法人は、平成18年4月1日に多機能サポートランドさわおとの森を設立し、在宅障害児・者を対象に障害者自立支援法の障害福祉サービスの中で、未就学・学童児童対象の児童デイサービス（どんぐりクラブ・くるみクラブ）での療育支援・発達支援と楽しみの場の提供、また障害児・者の短期入所での自立訓練・家族支援等、さらに入浴介助等の居宅介護や外出時の見守り支援を行う行動援護等、さらに22年3月から生活介護（わのみ）を立ち上げ、学校を卒業して比較的障害の重い方に対しての日中活動サービスを実施し、多機能型として、幼少から成人まで、また、事業所内・自宅・外出先などどこでも支援できる体制と致しました。

このほか、平成19年10月から指定管理者制度で児童デイサービス事業所「塩竈市ひまわり園」（塩竈市藤倉地区）を運営開始。平成22年5月1日より児童デイサービス事業所「発達支援ランドあのおの森」（利府町菅谷地区）も運営開始し、全部で3事業所となり、対象地域も塩竈地域や黒川郡のほかには仙台市や東松島市など遠方からも利用していただくなど地域で生活している障害児への支援の輪が拡充されました。

また、委託相談事業として平成19年5月から利府町保健福祉センターで実施する「利府町乳幼児発達相談支援事業（森の相談室とこあら教室）」、平成20年4月より塩竈市ひまわり園で実施する「塩竈市障害児・者発達等相談支援事業（ひまわり相談）」、平成22年12月より松島町希望園利用者に対しての「ことばと発達の教室（ひなたぼっこ）」と3自治体から委託を受けて実施。この地域の障害児及びそのご家族に対しての療育支援・発達支援の充実を図り、地域自治体や住民から信頼も厚くなってきております。

#### 東日本大震災後の対応

平成23年3月11日午後2時46分に震度7という強震であった東日本大震災が発生し地震・津波・原発事故により多くの犠牲者がでました。各園の被災状況と震災後の対応は以下のとおりでした。

##### 多機能サポートランドさわおとの森

地震による被災及び建物被害は殆どなく、当日の利用児・者も無事であり全員を自宅へ送り届けました。しかし、七ヶ浜町と多賀城市在住利用児が家族と連絡が取れず一晩宿泊させ、12日に無事家族等へ送り届けました。14日（月）は一応全員出勤として今後の対応を話し合い、ライフラインが止まり食料やガソリンの調達も不可となったために、この週は通常営業はせず、利用児・者（どんぐりクラブとわのみを中心に）の安全確認並びに、利府・塩竈・多賀城・七ヶ浜・松島の福祉課へ伺い障害者家族の避難所として提供する旨を伝えましたが利用はありませんでした。

22日（火）より電気のみ復旧したので、短期入所事業を中心に受け入れを再開しました。それに伴い食料等の救援物資を頂いたり、地主から井戸水の提供と入浴用の湯を沸かすためのかまどを借用（毎日入浴実施できました）、また全国から来て頂いたボランティアスタッフの協力など皆様のご協力を頂いたことにより多い日では定員9人に対して17人の短期

入所利用者を受け入れられました。

受け入れについては職員の苦労も並大抵のものではなかったのですが、自宅被災で長期受け入れ者2名のほかに被災による学校や通所系事業所が長期休みとなっており、それに伴い不安になっている障害児・者や、家族に対して希望に沿うサービスを提供できたと思われま

す。  
なお、全利用児・者の被災状況は、3人ほど津波等で自宅が被災されましたが死亡や怪我をされた方はありませんでした。職員については1人の自宅の津波被災にて避難生活を強いられましたが、その他の職員は大きな被害はありませんでした。

#### **塩竈市ひまわり園**

地震と津波による被災及び建物被害は、津波は園までは到達せず建物の周囲が若干陥没しましたが、建物自体の被害は殆どありませんでした。地震直後に一旦塩竈市体育館へ避難誘導してから再度ひまわり園に戻り迎え家族へ引き渡しました。地震後の対応としては、ライフラインが止まったのと園内等の片づけが必要だったため休園し、その間に電話等で利用児の安全確認を行い、23日（水）から受け入れを開始し、長期休みとなった学校児の受け入れを積極的に実施しました。

なお、全利用児の被災状況は、1人の自宅が津波等で床上浸水の被災にあったようですが死亡や怪我をされた方はありませんでした。職員についても大きな被害はありませんでした。

#### **発達支援ランドあのねの森**

地震による被災及び建物被害は一部瓦と壁とブロック塀に被害がありましたが、構造上は問題ありませんでした。当日の利用児も無事で、さわおとの森の被害が殆どなかったので一時さわおとの森へ利用児と職員が避難。その後に利用児全員を自宅へ送り届けました。地震後の対応としては、ライフラインが止まったのと園内等の片づけが必要だったため休園し、その間に自宅訪問等で利用児の安全確認を行い、23日（水）から受け入れを開始し、長期休みとなっている学校児を積極的に受け入れました。

なお、全利用児の被災状況は、1人の自宅が津波等で床上浸水の被災にあったようですが死亡や怪我をされた方はありませんでした。職員についても大きな被害はありませんでした。

## Ⅱ. 法人運営

### 1. 理事会に関すること

実施時期	内 容
平成22年 5月22日	平成21年度事業報告・収支決算・財産目録 平成22年度事業計画・収支予算の議案を提出 すべて承認されました

### 2. 総会に関すること

実施時期	内 容
平成22年5月22日	平成21年度事業報告・収支決算・財産目録 平成22年度事業計画・収支予算の議案を提出 すべて承認されました

### 3. 届出に関すること

実施時期	内 容
平成22年 6月 2日	宮城県環境生活部 共同参画社会推進課 NPO・協同社会推進 班への届出を行いました 提出書類 事業報告・財産目録・貸借対照表・収支計算書 前事業年度の役員と報酬を受けた役員の名簿 社員のうち10人以上の者の名簿

### 4. サービス評価に関すること

実施時期	内 容
	未実施

### 5. その他

実施時期	内 容
平成22年 4月 5日	就業規則を全面見直しを行い、仙台労働基準監督署へ届出を行いま受理されました

### Ⅲ. 多機能サポートランドさわおとの森

#### 1. 障害児・者に対する各種福祉サービス事業

##### (1) どんぐりクラブ (児童デイサービス)

###### 【実施状況】

未就学児童の親子通園を実施。個別もしくは小集団での各種療育支援を行うことにより児童の成長と家族の子育て技術の向上が図れ、今年3月に卒園して4月より幼稚園等の一般集団へ入園した児童も半数ほどおりました。

なお、21年度と比べて22年度の実人数・延べ人数が大幅に向上したのは、東松島市からの利用が増えたことが大きな要因です。

卒園児として、支援学校1人、幼稚園4人、保育所5人、他施設1人の合計11児童が巣立って行きました。

主な行事	5月28日(金)	春の遠足(仙台空港)
	6月20日(日)	ミニ運動会
	9月26日(日)	お父さん参観とお母さん勉強会
	10月26日(火)	乗馬体験(船形コロニーポニー牧場)
	12月15日(水)	クリスマス会
	2月20日(日)	お父さん参観と勉強会
	3月17日(木)	お別れ遠足中止(大震災のため)
	3月30日(木)	お別れ会
	毎月	お誕生会

###### 【実施日数】

236日実施(月曜～金曜 9:30～13:00)

※3月11日の東日本大震災により休園、3月24日から受け入れ開始となりました。

###### 【利用人数】

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
22	実人数	17	11	16	20	23	22	
年度	延人数	123	97	148	151	147	150	
21	実人数	12	13	13	14	22	12	
年度	延人数	96	78	110	119	132	105	
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
22	実人数	19	22	21	22	21	20	24
年度	延人数	154	178	166	152	155	124	1745
21	実人数	13	14	13	14	13	21	22
年度	延人数	104	98	119	97	119	145	1322

###### 【スタッフ数】

1日平均5人

###### 【その他】

作業療法士を今年度から常勤として作業療法に力を入れました。

言語聴覚士の協力 24回実施(2回/月)

(2) くるみクラブ (児童デイサービス)

【実施状況】

児童児童に対して、主に放課後時間に個別支援計画に基づく各種療育支援・自立支援を目的に、園内活動のほかに社会体験としての外出を行い様々な場所に慣れる、経験する、運動する等実施してきました。

利用ニーズとしては相変わらず高く、平成22年5月に利府町内に児童デイサービス事業所「発達支援ランドあのねの森」を開設。主として利府町内と多賀城方面の利用児を受けることにより、当園での受け入れの余裕を図りました。

なお平成21年4月より短期入所利用児の日中活動として児童デイサービスの算定も可能となり、その人数も含まれております。

【実施日数】

237日実施 (月曜～金曜 13:30～17:00)

46日実施 (土曜 9:30～13:00)

※3月11日の東日本大震災により休園、3月22日から受け入れ開始となりました。

【利用人数】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
22年度	実人数 45	38	39	39	39	37	
	延人数 182	144	177	157	154	160	
21年度	実人数 46	43	46	44	43	43	
	延人数 160	158	184	179	145	149	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
22年度	実人数 37	40	36	38	37	39	45
	延人数 156	167	159	149	153	129	1887
21年度	実人数 43	43	44	43	43	42	46
	延人数 152	138	159	150	147	149	1870

【スタッフ数】

1日平均 5人

(3) わのみ (生活介護)

【実施状況】

平成21年3月より事業開始して1年経過しました。わのみは、障害程度区分3以上の比較的障害の重い方に通っていただき、創作活動や機能訓練を含んだ運動等の活動のほかに、食事・排泄・入浴等の介護も実施してきました。また、ラーメン店の箸洗浄請負い作業も取り入れ、それぞれの障害にあった日中活動サービスを展開してきました。

主な行事

4月：お花見会 (船岡公園)      5月：春の日帰り旅行 (みちのく森の湖畔公園)  
 6月：他事所交流会 (虹の風)      7月：バーベキュー (南川ダム)  
 8月：仙台七夕見学      9月：ハイキング (七つ森)  
 10月：芋煮会 (園内)      11月：秋の日帰り旅行 (遠刈田温泉)  
 12月：カラオケ外出 (仙台)      1月：新年会 (園内で餅つき)

2月：節分会（園内） 3月：未実施  
 毎月：外食体験（昼食）

【実施日数】

237日実施（月曜～金曜 9：30～16：00）

※3月11日の東日本大震災により休園、3月22日から受け入れ開始となりました。

【利用人数】

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
22	実人数	3	3	3	4	5	5	
年度	延人数	63	54	66	68	71	75	
21	実人数							
年度	延人数							
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
22	実人数	5	5	6	7	7	8	9
年度	延人数	73	76	85	97	104	121	953
21	実人数						2	2
年度	延人数						34	34

【スタッフ数】

1日平均 4人

(4) 短期入所（ショートステイ）

【実施状況】

家族から離れて宿泊する、自分でできることは自分でしてもらうなどにより、将来の自立につながる訓練的な要素を目的とした事業展開をしてきました。当園は在宅の方を一泊二日程度を定期的に利用してもらい、なおかつ日中通っている学校や通所系サービス事業所等へ送迎を行っているので年々利用人数が上がっているのですが、それにより効率的・管理的な運営になってきており、当園の目的を再確認する必要性が感じられるようになってきました。

しかし、3月11日の東日本大震災後の対応として、被災による自宅損壊や学校・通所系施設が長期で休みとなったことにより、9名の定員に対して多い日には17名の利用児・者を受け入れるなど単独型短期入所事業所としては驚異的であり、これは業務当直ができるスタッフを多く確保していることと（定員超過時には3名の当直を配置して安全を確保）と効率的・管理的な運営ができるようになったからこそであり、この点も含め今後の短期入所事業の方向性を検討する必要があると考えます。

【実施日数】

345日実施（月曜～日曜（日曜と祝日の宿泊は無））

※3月11日の東日本大震災により休園、3月22日から受け入れ開始となりました。

【利用人数】

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
22	実人数	71	67	73	72	75	72	
年度	延人数	402	373	422	434	423	414	

21年度	実人数	56	57	61	66	66	60	
	延人数	371	330	342	389	357	326	
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
22年度	実人数	71	70	70	70	72	70	83
	延人数	414	366	418	378	402	325	4771
21年度	実人数	68	66	68	61	62	77	77
	延人数	366	289	379	359	366	399	4273

※22年度は1日平均13.8人(実施日数/延人数)となりますが、当園は一泊二日の利用児・者が毎日入れ替わりとなる利用が殆どのため、実際には1日8人程度の利用(宿泊)となります。

【スタッフ数】  
1日平均 5人

(5) 居宅介護・行動援護・重度訪問介護

【実施状況】

居宅介護では、単身生活や肢体不自由障害児・者に対しての定期的な家事援助や入浴介助を実施して、自立生活の支援や家族の介護労働軽減に寄与してきました。

行動援護では、介護福祉士等がマンツーマン対応で障害児・者に対して主に社会参加のための移動支援サービスやプール付き添い等を提供。本人の生きがいと生活意欲の向上や社会体験による自立心の向上を図ってきました。

重度訪問介護の契約者はありませんでした。

【実施日数】

274日実施(月曜～日曜、7:00～20:00、未実施日含む)

※3月11日の東日本大震災後より、短期入所受け入れでいっぱいだったために3月中の受け入れは行いませんでした。

【利用人数】

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
22年度	実人数	12	12	11	14	13	14	
	延人数	61	50	63	67	64	64	
21年度	実人数	13	13	13	14	15	11	
	延人数	74	68	73	78	66	51	
月		10月	11月	12月	1月	2月	3□	年間
22年度	実人数	11	12	15	13	16	10	21
	延人数	64	64	69	65	71	43	745
21年度	実人数	11	13	13	12	14	12	15
	年□ 延人数	98	85	107	93	97	96	986

【スタッフ数】  
1日平均 2人

※(別紙1)平成22年度利用人員を参照

(6) 市町村事業

① 日中一時支援事業

<b>【実施状況】</b>								
日中一時支援とは、家族に代わって施設等で一時的にお預かりするサービスですが、児童デイサービスと同じ内容で療育的な要素で実施してきました。								
しかし、児童デイサービスよりはるかに単価が低く人件費にも満たない状況であり、今後も市町村と協議していく必要があります。								
<b>【開園日数】</b>								
274日実施（月曜～土曜、未実施日も含む）								
※3月11日の東日本大震災後より3月中は受け入れなし。								
<b>【利用人数】</b>								
	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
22	実人数	7	7	5	15	12	9	
年度	延人数	32	14	32	43	58	37	
21	実人数	12	3	6	9	16	8	
年度	延人数	34	5	6	17	28	14	
	月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
22	実人数	9	6	10	6	8	0	27
年度	延人数	30	30	33	15	14	0	338
21	実人数	6	10	7	5	5	15	16
年度	延人数	10	11	14	11	6	27	183
<b>【スタッフ数】</b>								
1日平均 1人								

② 移動支援事業

<b>【実施状況】</b>								
(4)の行動援護と同様な内容で、本人の生きがいと生活意欲の向上や社会体験による自立心の向上を図ってきました。また、富谷町と大和町と大衡村は短期入所の送迎加算を移動支援としています。								
<b>【開園日数】</b>								
273日実施（月曜～土曜、未実施日も含む）								
※3月11日の東日本大震災後より3月中は受け入れなし。								
<b>【利用人数】</b>								
	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
22	実人数	1	2	2	1	1	2	
年度	延人数	2	5	3	1	2	5	
21	実人数	1	1	1	2	1	1	
年度	延人数	2	2	2	2	1	2	
	月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
22	実人数	1	2	2	1	1	0	4
年度	延人数	3	5	6	2	2	0	36

21	実人数	2	1	1	2	3	1	3
年度	延人数	3	2	2	8	12	2	40
【スタッフ数】								
1日平均 1人								

③ 松島町ことばと発達の教室「ひなたぼっこ」

【実施状況】	
平成22年12月より松島町の受託事業として松島町希望園に通園している方に対して、専門職によることばの相談と発達の相談の事業を開始しました。	
【実施場所】	
松島町希望園	
【実施日数】	
12月～2月まで6回	
【利用人数】	
ことばの相談（言語聴覚士対応）：8件	
発達相談（発達臨床心理士）：6件	
【スタッフ数】	
心理職・言語聴覚士の専門職2人	

2. 健全児童に対する各種福祉サービス事業

(1) 健全児一時保育

【実施状況】							
未就学デイサービス利用児の兄弟を同じ時間に受け入れ予定でしたが、22年度の利用はありませんでした。							
【利用人数】							
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
22	実人数	0	0	0	0	0	0
年度	延人数	0	0	0	0	0	0
21	実人数	1	1	1	2	1	1
年度	延人数	7	7	7	11	8	6
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
22	実人数	0	0	0	0	0	0
年度	延人数	0	0	0	0	0	0
21	実人数	3	3	2	2	2	4
年度	延人数	8	5	11	5	3	86
【スタッフ数】							
1日平均 1人（専属ボランティア含む）							

(2) 利府町乳幼児発達相談事業

【実施状況】	
平成19年度より利府町からの受託事業として実施。乳幼児健診で発達の心配な児童	

とその家族に対して専門的な相談と育児支援を行い、年々利用率が向上しており利府町内児童の発達支援に寄与したと思われます。

【実施場所】

利府町保健福祉センター

【実施日数】

24回実施（2回／月）

【利用人数】

言語・発達相談

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
22年度	実人数	3	2	3	5	4	6		
	延人数	3	2	3	5	6	6		
21年度	実人数	3	5	4	7	6	0		
	延人数	3	5	4	7	6	0		
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月		年間
22年度	実人数	4	6	5	5	8	2		40
	延人数	4	6	5	5	8	2		55
21年度	実人数	4	3	7	4	5	3		33
	延人数	4	3	7	4	5	3	51	

親子教室実利用（対象児・保護者・兄弟含む）

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
22年度	実人数	14	14	13	16	17	10		
	延人数	26	23	24	28	30	19		
21年度	実人数	4	12	8	15	11	11		
	延人数	4	12	12	18	10	21		
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月		年間
22年度	実人数	12	9	10	16	16	12		34
	延人数	19	16	15	32	25	12		269
21年度	実人数	8	6	13	13	19	18		25
	延人数	12	8	18	18	26	34	202	

【スタッフ数】

平均 3人

心理職・言語聴覚士の専門職 2人

3. 介護保険法に基づく居宅サービス事業（訪問介護）

【実施状況】

未実施。

#### 4. 前3項対象児・者の家族等への支援を行う事業

【実施状況】		
<p>どんぐりクラブ（児童デイサービス）を中心に、家族に対しての子育て・療育アドバイスをスタッフや言語聴覚士・作業療法士の協力を得て専門的な相談をその都度実施してきました。障害を抱える家族の育児方法の向上や不安軽減に寄与したと思われま</p>		
【実施日数】		
236日実施（月曜～金曜 9:30～13:00）		
【利用人数】		
	実人数	延人数
22年度	24人	270人程度
21年度	21人	250人程度

#### 5. 付随事業

##### (1) 職員の研修に関すること

【実施状況】			
職員の資質・技能向上のために外部講習受講等			
実施日	名 称	場 所	参加者
H22.5.1	AASM 自閉症療育専門研修会	エルパーク仙台	職員2人
H22.5.13 ～ □23.3.29	利府町介護人材育成支援事業施設研修 シリーズで20回受講	たけくまこどもことばの教室	職員1人
H22.5.14	キャリアパス導入対策セミナー	富士ゼロックス仙台支社	理事長・園長
H22.5.19	居宅介護等従業者研修 「福祉制度について」	園内	職員8人
H22.6.10 ～7.13	介護人材育成事業ホームヘルパー2級講座 (実技講習8日間・現場実習4日間)	泉ふるさと村 松森デイサービスセンター	職員1人
H22.6.10 6.30/7.21	自閉症支援セミナー・基礎コース	宮城県子ども総合センター	職員1人
H22.6.16	居宅介護等従業者研修 「居宅における個別支援計画について」	園内	職員8人
H22.6.□5	療育支援研修会	拓桃医療療育センター	職員2人
H22.7.7	居宅介護等従業者研修 「食べる機能について」	園内	職員8人
H22.8.10 ～11	ワンダーサマースクール「子どもの発達 を支える保育環境をつくるために」	仙台福祉プラザ	職員7人
H22.8.17 19/24	行動援護従業者養成研修	EDC 福祉医療学院	職員1人
H2□.8.26	居宅介護等従業者研修	園内	職員8人

	「腰椎の原因と予防について」		
H22. 9.1□	居宅介護等従事者研修 「親子の心理状況について」	園内	職員 8 人
H22. 9.13	福祉サービスの苦情解決に関する研修会	東京エレクトロンホール	職員 1 人
H22.10.27	居宅介護等従事者研修 「感染症について」	園内	職員 8 人
H22,10,29	塩竈市障がい福祉フォーラム	ふれあいエスプ塩竈	職員 5 人
H22.11. 9 ～11	サービス管理責任者研修会 児童分野 12.6～7 介護分野	県庁講堂等	職員 2 人
H22.11.17 ～18	社会福祉施設新任職員研修会	宮城県管工事会館	職員 1 人
H2□.11.26	居宅介護等従業者研修 「居宅における個別支援計画について」	園内	職員 9 人
H22.12. 8 12.15/16	自閉症セミナー・実践コース	宮城県子ども総合センター	職員 1 人
H22.12. 9	拓桃医療療育センター見学	同左	職員 5 人
H22.12.10	居宅介護事業所サービス提供責任者研修	県庁講堂	職員 1 人
H23. 1.25	難病患者等ホームヘルパー養成研修	宮城県漁信ビル	職員 1 人
H23. 1.31 ～2.1	精神障害者保健福祉サービス提供体制整備促進研修会	宮城県民会館	職員 2 人
H23. 2.18	居宅介護等従事者研修 「障害児の思春期について」	あのねの森	職員 7 人

(2) 職員会議に関すること

<b>【実施状況】</b>		
職員会議		
実施日	内 容	参加数
H22. 4.21	全体職員会議：22 年度事業計画・就業規則改正・その他	21 人
H22. 5.11	リーダー会議：各園部署報告・年間行事表作成・業務内容確認等	10 人
H22. 6. 8	リーダー会議：各園部署報告・夏休み受け入れ・個別支援計画作成等	12 人
H22. 7. 6	リーダー会議：各園部署報告・夏休み・秋祭り等	11 人
H22. 7.15	全体職員会議：ヒヤリハット活用・夏休み体制・秋祭り等	17 人
H22. 8.31	リーダー会議：夏休みの反省・秋祭り・あのねの森未就学デイ開始等	11 人
H22.10. 8	リーダー会議：秋祭りについて等	11 人
H22.10.29	全体職員会議：秋祭りについて最終確認	17 人
H22.11. 1	リーダー会議：秋祭り最終確認・冬休み体制・年末年始休園について等	11 人
H22.12. 8	リーダー会議：年末大掃除・冬休み体制・次年度利用状況等	9 人
H23. 1.12	リーダー会議：冬休み反省・次年度計画・春休み体制・物品購入等	11 人
H23. 1.27	全体職員会議：各部署今年度報告と次年度計画・福祉制度について	16 人
H23. 2. 9	リーダー会議：春休みの短期入所支援協力体制について等	11 人

各係・事業毎支援会議

実施日	内 容	参加数
H22. 4.19	くるみ会議：日課表とショートステイチェック表見直し等	6人
H22. 4.26	どんぐり会議：ケースカンファレンス	5人
H22. 5.12	くるみ会議：個別支援計画作成についての打ち合わせ	5人
H□2. 5.19	居宅支援会議：介護計画書の確認・利用者の情報交換等	8人
H22. 5.28	どんぐり会議：ケースカンファレンス	5人
H22. 5.21	給食係会議：嗜好調査・献立について・食事時の環境等	6人
H22. 5.21	くるみ会議：平成 21 年度個別支援計画評価	9人
H22. 6. 2	くるみ会議：事項報告と対応・利用者持参物管理・夏休み対応等	6人
H22. 6.16	居宅支援会議：アセスメントの確認・居宅における個別支援計画等	9人
H22. 6.24	くるみ会議：夏休み体制・個別支援計画・食中毒と熱中症対策等	13人
H22. 6.29	どんぐり会議：ケースカンファレンス	5人
H22. 7. 2	くるみ会議：特定利用児への食事支援について	6人
H22. 7. 7	居宅支援会議：個別支援計画作成・利用者の情報交換	10人
H22. 7. 9	わのみ会議：ケースカンファレンス	5人
H22. 7.28	どんぐり会議：ケースカンファレンス	5人
H22. 8.26	居宅支援会議：個別支援計画作成・利用者の情報交換	10人
H□2. 8.30	どんぐり会議：ケースカンファレンス	5人
H22. 9. 3	給食係会議：特定利用児の食事支援の方法再確認	8人
H22. 9. 6	くるみ会議：児童デイとショートの業務分担検討・夏休み反省等	8人
H22. 9.10	居宅支援会議：個別支援計画作成・利用者の情報交換	7人
H22.10. 1	どんぐり会議：ケースカンファレンス	5人
H22.10. 4	看□師会議：ひまわり園との□療ケアの必要な利用者の情報交換	7人
H22.10. 8	わのみ会議：ケースカンファレンス	5人
H22.10.27	居宅支援会議：個別支援計画の確認・利用者の情報交換	5人
H22.11. 1	どんぐり会議：ケースカンファレンス	5人
H22.11.26	居宅支援会議：個別支援計画の確認・利用者の情報交換	9人
H22.12.24	くるみ会議：冬休み体制・個別支援計画見直し・来年度行事等	6人
〃	居宅支援会議：個別支援計画の確認・利用者の情報交換	9人
H22.□2.29	どんぐり会議：ケースカンファレンス	5人
H23. 1.14	くるみ会議：冬休み反省・個別支援見直しと個別面談日程調整等	6人
H23. 1.26	どんぐり会議：ケースカンファレンス	5人
H234. 1.27	居宅支援会議：個別支援計画の見直し・利用者の情報交換	5人
H23. 2.28	どんぐり会議：ケースカンファレンス	5人
〃	居宅支援会議：個別支援計画の見直し・利用者の情報交換	7人
H23. 3.10	居宅支援会議：個別支援計画の見直し・利用者の情報交換	5人
H23. 3.31	どんぐり会議：ケースカンファレンス、個別支援計画まとめ	5人

(3) 防災に関すること

【実施状況】	
利用者の安全を図るために定期的実施	
実施日	内 容・参加者
H22. 5.31	通常訓練：15:05に1階厨房より出火、避難、利用者9人・職員13人
H22. 6.12	通信訓練：9:00大地震後9:10に1階厨房より出火、非常連絡網で通信訓練実施 職員40人実施
H22. 8.30	総合訓練：15:00に2階事務室コピー機より出火、消防署への通報、避難、初期消火 利用者14人・職員12人
H22. 8.25	利府消防署より防火管理者変更届受理（佐藤信太郎⇒村上 栄一）
H22. 8.30	通常訓練：15:00に2階事務室コンセントより出火、避難、利用者4人・職員15人
H22. 9.16	通常訓練：15:00に2階居室より出火、避難、利用者15人・職員8人
H22. 9.27	通常訓練：15:00に2階居室より出火、避難、利用者12人・職員15人
H22.10. 6	通常訓練：15:00に2階居室より出火、避難、利用者10人・職員11人
H22.10.13	塩竈消防本部から連動型住宅用火災警報器を15個譲与される。 10.15設置完了報告書を利府消防署へ提出
H22.11.11	総合訓練：10:30に1階厨房から出火、消防署への通報、避難、初期消火 利用者13人・職員10人
H22.12.26	通信訓練：9:00に出火、非常連絡網で通信訓練実施、職員37人実施
H23. 1.21	通常訓練：15:00に1階厨房より出火、避難、利用者15人・職員12人

(4) 地域交流に関すること

① さわおとの森秋祭り

【実施状況】
<p>平成21年度はインフルエンザ蔓延の恐れのため中止し、22年度は第4回目の秋まつりとして日頃利用者や地域住民への感謝をこめて「感謝祭 ありがとうを心から in さわおとの森」として実施。今年はイケメンズライブ、ピエロによるバルーンアートや手品、未就学児家族の踊りなどのイベントが大変好評であり、他に大変リーズナブルとしたバザー・模擬店・ゲームコーナーなどを実施。多数の住民の参加にて地域住民及びその子供たちと利用している障害児・者及びその家族との交流が図れました。</p>
<p>【実 施 日】</p> <p>平成22年11月 7日（日）実施</p>
<p>【参加者数】</p> <p>利用者並びに地域住民参加者約：376人、 イベント出演者関係5人、ボランティア44人、職員33人</p>

(5) 広報に関すること

【実施状況】
<p>法人全体の広報誌として「広報さわおとの森」を下記のとおり発行いたしました。</p>

- 第7号 発行日：平成22年6月4日  
内 容：新2事業開設・各園活動紹介・おぎゃー献金助成工事等  
発行数：600部
- 第7号 発行日：平成22年12月29日  
内 容：新年のあいさつ・秋まつり紹介・新職員紹介等  
発行数：630部

他に、各園・各事業毎に月便りを発行

#### IV. 塩竈市ひまわり園

##### 1. 障害児・者に対する各種福祉サービス事業

###### (1) 未就学児デイサービス（児童デイサービス）

発達に障がいのある未就学児の親子通園を実施しています。支援プランを作成して、個別もしくは小集団での各種療育支援を行うことにより、ご家族への療育アドバイスや児童のより良い成長を促しての子育て支援を提供することができました。

年齢は1歳から6歳まで、一日平均約5人の利用がありましたが、今年度は、塩竈市内からの利用者だけでした。

送迎サービスの利用は、希望により3組の親子に実施しました。

来年度就学・幼稚園入園・保育所入園予定の児童を中心に、ケースによっては、完全母子分離での利用も実施しました。

震災の為卒園式は3月31日に実施し2人の児童が就学し、1人は幼稚園、3人が保育園・保育所へと計6人の卒園をお祝いしました。

###### ☆ 年間行事実施状況

月	日	行事名	参加者				内容・その他
			利用 児	保護 者	職員 等	計	
4	20	お誕生会	4	3	5	12	ペープサート母親手作りの昼食で会食
	26	園外保育（お花見）	3	3	5	11	みなと公園（市のマイクロバス利用）
5	14	春の遠足（八木山動物園）	6	4	7	17	天気に恵まれる、全職員で支援。 （市のマイクロバス利用）
	20	どんぐり交流会（さわおと）	7	5	4	16	さわおとの森での交流。 初めての場所で興奮気味。
	25	交流保育	3	1	4	8	ひまわり園ホールにて。
6	10	松ぼっくり広場交流会	4	3	4	11	七ヶ浜町から13名の来所。抵抗なく一緒に活動出来た。
	15	交流保育	6	4	4	14	ばんだ組のお迎えにより保育所ホールで遊ぶ事ができた。
7	9	星まつり／藤倉保育所合同	9	5	4	18	12:30 でいったん降園。 15:00 お祭り広場担当
	13	交流保育	6	2	4	12	ひまわり園ホールで実施
	15	お誕生会	6	6	4	16	ブラックシアター 母親手作りの昼食で会食
8	10	交流保育（中止）				0	藤倉保育所で感染症発生のため
	19	園外保育（動物愛護センター）	4	2	3	9	全員初めての体験 昼食は園にて
9	1	どんぐり交流会（さわおと）	6	3	3	12	さわおとの森ホールにて。 前回より落ち着いて楽しめた。
	15	お誕生会	8	5	5	18	手遊び、紙芝居、会食を楽しむ。
	16	三園交流会	7	6	5	18	雨天でも、希望園9名、まつぼっくり広場7名の参加。ひまわり園ホールでふれあい遊び

							を楽しむ。
	18	運動会／藤倉保育所合同	13	10	5	28	プログラムの最後まで全員参加できた。
9	28	交流保育	4	3	4	11	雨天のため散歩中止。ひまわり園ホールでリズム遊びを楽しむ。
	30	秋の遠足／ポニー牧場	7		7	14	乗馬・馬車・餌やり、希望の家での昼食。時間もゆったりで楽しめた。 (市のマイクロバス利用)
10	13	交流保育	7	4	5	16	松島人形劇団「ピノキオ」来園、「大きなカブ」「カエルのダンス」を集中してみる。
	15	園外保育 (いも煮会)	7	7	7	21	雨天のため園内で実施。
	19	お誕生会	7	6	7	20	大型絵本・わらべ唄・会食を楽しむ。
	20	どんぐり交流会 (さわおと)	5	4	3	12	秋まつりで行う出し物を練習。
	27	お芋掘り	5	5	3	13	テラス横の砂場に特設した芋畑にて芋掘りを楽しむ。
11	2	七五三参り	6	4	5	15	塩竈神社へお参り、ハトの餌やりや散策を楽しみ園に戻ってお弁当
	7	さわおと秋まつり	5	4	7	16	さわおとの森のどんぐりのお友だちと合同でステージ発表に参加する。
	9	交流保育	7	4	3	14	ひまわり園担当。タフロープ遊びを行う。
12	17	クリスマス会	8	8	7	23	可愛く仮装しての劇遊び。お母さんのゲーム大会。サンタさんの出し物。サンドイッチでのパーティーと盛り沢山で楽しめた。
	28	お楽しみ会	5	5	7	17	職員手作りのバイキング。忘年会を楽しむ。
1	12	交流保育	6	5	3	14	保育所ホールで楽天球団のキャラクター登場。パニックにならずその場にいられた。
2	3	節分祭	8	7	4	19	職員と保護者が鬼になり豆まきスタート。全員がおお泣き。最後に福の神も登場しビックリの表情。
	9	交流保育	3	3	3	9	児童館へ散歩。今年度最後となる。お互いにプレゼント交換を行う。
	16	電車でGO !!	5	3	4	12	仙石線利用。松島海岸へ。初めての電車で親子で大喜び。
	27	お父さんの勉強会				0	父親参観日。斎藤純子先生のお話会を含む。
3	3	ひな祭り会	9	8	4	21	保育所と合同でごきげん座の人形劇をみる。最後まで見ていられた子も半数以上いた。
	11	お別れ遠足				0	実施せず。
	31	卒園式	11	10	7	28	練習なしで臨んだセレモニー皆りっぱでした。6名のお友だちが卒園しました。
延べ			55	49	39	143	

## (2) 学童デイサービス（児童デイサービス）

学童障害児を対象に個別支援計画を作成し、放課後や長期休み等に、小集団活動や個別での各種療育活動・社会体験などを行うことにより、より良い成長・社会性の向上を図ることを目指しています。併せて、ご家族への支援も心がけてきました。

今年度は、利用児のご父兄と個別面談が実施できたことにより、サービス内容も拡がり、安心してご利用いただける体制が充実してきました。重度障害児療育強化事業委託により、21年度半ばから看護師が配置され、重度心身障害の児童3名も、週1回の定期利用を行っています。

小学1年から高校3年までの39名は、全部で11校から利用され賑やかな毎日を送っておりますが、各学校の終業時間の違いをはじめ、利用児童同士の関係調整への特別な配慮の必要性などの課題もみえてきました。

2月から、利用についてのアンケートを実施し、新年度に向けてニーズをふまえた支援体制や、安全な環境づくり、課題の解決などをめざしていききたいと思います。

### ☆ 学童デイサービスの活動から

#### ◎ よか余暇タイムに交流参加

比較的高学年の利用が多い土曜日に、「あすなろ」（あしたば福祉会が運営する知的障害者通所施設）利用者の皆さんとの交流をお願いして、「よか余暇タイム」に参加させていただいた。

8月7日 音楽のつどい（4名）

10月23日 キャッチセットフライト制作（4名）

1月29日 ものづくり教育～ペットボトル・CDを使って（6名）

#### ◎ 見学・体験・活動を行った主な社会資源

##### 社会資源（見学・体験）

新幹線車両基地・東北歴史博物館・利府町青少年の森・塩竈神社・総社宮・塩竈エスプ  
・葛岡リサイクルプラザ・あやめ園・仙台市科学館・キリンビール工場・八木山動物公園・マリ  
ンピア松島水族館・仙台空港・南小泉交通公園・ミスタードーナツ・かまぼこ館・コンビニでの買  
い物・塩竈市魚市場

##### 社会資源（公園など）

利府町県民の森アスレチック・加瀬沼公園・伊保石公園・仙台港公園・利府葉山の公園・利府菅  
谷の公園・利府グランディ21・大衡万葉パーク（万葉の森）・冒険広場・臨空公園・西行戻りの  
松公園

※（別紙2）塩竈市ひまわり園児童デイサービス利用状況を参照

## 2. 障害児・者の家族等への支援を行う事業

### (1) ひまわり相談室

塩竈市からの委託事業として、在宅障害児・者の各種相談を実施しました。

#### 【ひまわり相談室実施状況①】

月	件数	障害種別（複数）							相談方法（複数）							
		身体障害	重心等	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳	その他	訪問	来所	同行	電話	メール	支援会議	関係機関	その他
4	8		2	1		5				8						
5	8		1	2		5			1	8						
6	7	1	1	1		3		1	1	7						
7	6	1		3		2			1	6						
8	10		3	2		5				10						
9	6	1	1	1		2		1	1	3	2			①		
10	10		1	1		6			3	7				①		
11	7		2			5				6	1					
12	6					3		3	3	3						
1	7		2			3		2	3	4				①		
2	11	2				3		6	5	6						
3	7	1	1			5			1	6						
計	93		14	11	0	47	0	13	19	74	3	0	0	0	0	

※関係機関等：保健センター・利府支援学校・杉の入小学校・香津町保育所・あゆみ保育園・塩釜聖光幼稚園・児童館・ことばの教室

#### 【ひまわり相談室実施状況②】

月	件数	相談項目											
		サービス利用	障害理解等	健康医療	情緒安定等	保育教育	人間関係等	家計経済	生活技術	就労	社会参加等	権利擁護	その他
4	8	1	5	1	3	1	2						
5	8	2	6	1	4		3			1			
6	7	1	3	1	2	1	2						
7	6	1	6		1	1	1						
8	10	1	4	3	4	1	2		2				
9	6	2	3	2	5		3		2				
10	10	1	7	2	8		2		1		1		
11	7	1	2	2	4	1						1	
12	6		3	1	3	3			1				
1	7	2	2	1	3	1		1	1		1		
2	11		7		6	2							2
3	7	1	2	2	3	3	2			1	1		
計	93	13	50	16	46	14	17	1	7	2	3	1	3 (11)

### 3. 付随事業

#### (1) 塩竈市ひまわり園運営委員会に関すること

<p><b>【実施日・場所】</b>          平成23年3月2日（水） 13：30～15：00 ・ 塩竈市役所2階会議室</p> <p><b>【参加者】</b>          保護者2人・教育委員会学校教育課1人・民生・児童委員1人・保健士1人・          障害福祉係長1人・当法人理事長・ひまわり園長・さわおとの森園長 合計9人          ※藤倉保育所々長は不参加</p> <p><b>【内容】</b>          ひまわり園の運営状況や利用実績の報告後に、NPO 法人と社会福祉法人の違いはなにか、土曜日の午後や夏休みなどのニーズが高いなどの意見交換を行いました。</p>
--

#### (2) 職員の研修に関すること

月	日	名称（テーマ等）	主 催	場 所	参加数
4	1	新人職員研修	さわおとの森	さわおとの森	2
5	20	摂食指導（ホワイト歯科）	利府支援学校	利府支援学校	1
	21	個別支援計画について	自主研修	ひまわり園	7
	26	利府支援学校見学会	利府支援学校	利府支援学校	1
6	4	救急救命講習会	児童福祉課	藤倉保育所	2
	10	自閉症支援セミナー（基礎コース）	県子ども総合センター	県子ども総合センター	1
	22	救急救命講習会	児童福祉課	公民館	3
	24	食中毒について	自主研修	さわおとの森	1
	25	わらべうた	児童福祉課	公民館図書室	3
	30	自閉症支援セミナー（基礎コース）	県子ども総合センター	県子ども総合センター	1
7	8	障害児保育研修会	児童福祉課	塩竈市役所会議室	1
	17	自閉症と関わる方が学びあうセミナー	社会福祉法人栗原秀峰会	パレットおおさき	1
	21	自閉症支援セミナー（基礎コース）	県子ども総合センター	県子ども総合センター	1
	28	梨丘ネットワーク会議（講演）	利府支援学校	利府支援学校	1
8	10	ワンダーサマースクール	世界文化社	福祉プラザホール	1
	11	ワンダーサマースクール	世界文化社	福祉プラザホール	1
	28	自閉症と関わる方が学びあうセミナー	社会福祉法人栗原秀峰会	パレットおおさき	1
9	1	わらべうた	児童福祉課	公民館図書室	1
	2	研究講話（こまくさ苑）	利府支援学校	利府支援学校	1
	25	自閉症と関わる方が学びあうセミナー	社会福祉法人栗原秀峰会	パレットおおさき	1
10	4	看護業務について	自主研修	さわおとの森	2
	27	インフルエンザの感染予防	自主研修	さわおとの森	6
	29	福祉フォーラム	福祉事務所	ふれあいエスプ	1
	30	自閉症と関わる方が学びあうセミナー	社会福祉法人栗原秀峰会	パレットおおさき	1
11	20	自閉症と関わる方が学びあうセミナー	社会福祉法人栗原秀峰会	パレットおおさき	1

1	12	VOCAをもっと使いこなそう	自主研修	さわおとの森	2
2	18	思春期の支援について（斉藤）	自主研修	あのねの森	1
延 べ					45

### (3) 職員会議に関すること

月	日	内 容	参加人数
4	21	平成22年度事業計画の確認、意見交換	7人
5	18	さわおとの森事務からの連絡、6月行事予定	7人
6	24	個別支援計画の進行状況、夏休み中の取り組みについて	7人
7		夏休み期間中のため未実施	
8	24	夏休みの反省、意見交換、9月の行事予定について	7人
9	28	秋まつりについて、個別支援計画の進捗状況、意見交換	7人
10	26	秋まつりについて、意見交換	7人
11	25	秋まつりの反省、学童児個別面談進捗状況、意見交換	7人
12	20	冬休み中の取り組みについて、学童児個別面談進捗状況、大掃除について	7人
1	24	冬休みの反省、学童児個別面談報告、意見交換	7人
2	24	卒園式、お別れ会について、意見交換	7人
3		大震災のため未実施	

### (4) 防災に関すること

#### ☆藤倉保育所と合同で実施

月	日	種 別	内 容	参加者			
				利用者	保護者	職員	計
4	20	講 話	園単独で実施。利用者の保護者向けに訓練の意義や計画、方法などを説明。警報の音の体験。	4	3	5	12
5	21	火 災	給食室からの出火想定。音声警報にて、園庭ジャングルジム前に集合。	6	2	4	12
6	12	地 震	防災の日。ひまわり園の参加なし。土曜日午後の訓練のため、保育所から園長への通信連絡のみ。	0	0	0	0
6	21	火 災	給食室からの出火想定。（朝に知らせておく）体操後に非常ベルが鳴り玄関からジャングルジム前に避難する。	6	1	5	12
7	20	総 合	給食室から出火想定。所長の放送指示にて園庭に集結。消防署職員の講話、消火訓練及び消防車両見学。消防査察が行われた。	7	2	5	14
8	25	地 震	宮城県沖地震想定。所長の放送指示で園庭に集合。（日よけパラソルを使用）	8	4	5	17
9	21	火 災	隣接民家から火災発生の想定。保育所2階避難経路から園外に避難。いつもと違う経過で緊張感がみられた。	6	3	4	13
10	21	総 合	給食室より出火想定。人数少なく母子分離での利用。職員の指示もスムーズに入り、保育所ホールでの消防署員の講話を聞く事が出来たが、防災ビデオは最後まで見る事ができなかった。	3	0	4	7

11	19	火災	ひまわり園から出火想定。テラスから外に出て、住宅街の奥の公園に避難集合。保護者なしでの5人は、坂道もスムーズに避難できた。	5	0	4	9
12	22	地震	学童児対象。始まりの会の時に非常ベル。安全確保とパニックにならないよう声かけしながらロッカー室内に一人ずつ避難。学校でも実施しているためか、耳おさえはみられたが思いの外円滑に動けた。	6	0	6	12
1	24	火災	学童児利用時間帯の訓練。隣接民家から火災発生の想定。お出かけ準備後の非常ベルで玄関から避難し駐車場に集合。ベルの音にパニックを起こす事もなかった。	6	0	5	11
2	18	火災	隣接北側民家からの出火想定。朝の会終了後非常ベル吹鳴。テラスから園庭に集結、第1避難所へ誘導。	10	4	5	19
3			震災の為実施せず				0
延べ				67	19	52	138

(5) 広報に関すること

【実施状況】

- ◎ 未就学児対象園だよりを毎月発行
- ◎ 学童児対象園だよりを毎2月に1回発行

## V. 発達支援ランドあのねの森

平成22年5月より運営を開始しております。

### 1. 障害児・者に対する各種福祉サービス事業

#### (1) あのねキッズ（児童デイサービス）

##### 【実施状況】

さわおとの森どんぐりクラブの利用希望児が増えてきた為に、その臨時対応策として平成22年10月より急遽未就学デイサービス（あのねキッズ）を開園し、週2日の親子通園を実施いたしました。

個別もしくは小集団での各種療育支援を行うことにより、短い期間ではありましたが、児童の成長と家族の子育て技術の向上が図れ、保護者から「あのねの森に来て良かった」との声が聞かれました。

在籍4人のうち卒園者は2人で、1人はさわおとの森どんぐりクラブへ籍を移し、1人は父親転勤により卒園となりました。

実施行事	10月 5日	あのねの森 始まりの会
	11月 4日	ジャンボシャボン玉
	12月21日	クリスマスお楽しみ会
	1月13日	初詣（塩釜神社）
	2月 3日	豆まき会
	3月31日	お別れ会

##### 【実施日数】

44日実施（火曜・木曜 9:30～12:30）

##### 【利用人数】

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
実人数	3	4	4	4	4	4	4
延べ人数	16	21	21	28	30	14	130

##### 【スタッフ数】

1日平均2人

##### 【その他】

臨床発達心理士・作業療法士の専門職の協力 10回実施（各1回/月）

#### (2) 学童デイサービス（児童デイサービス）

##### 【実施状況】

学童児に対して、放課後時間に各種療育支援・自立支援を目的に室内活動ではクッキングや季節の制作など、また、社会体験を通して外出を行い、様々な場所に慣れる・経験する・運動する等を実施してきました。

あのねの森だよりで毎月の活動をお知らせしたことによって、子ども達は期待をもって登園し、保護者からは事前情報を入れて頂くこともあり、とてもスムーズに充実した活動を行うことができました。

##### 【実施日数】

216日実施（月曜～金曜 1:30～17:00）

【利用人数】							
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
実人数		26	27	28	29	29	
延べ人数		92	143	141	134	147	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
実人数	29	30	32	31	32	32	32
延べ人数	139	140	153	132	140	114	1,475

【スタッフ数】  
1日平均 6人

(3) 日中一時支援事業（市町村事業）

【実施状況】							
<p>日中一時支援とは、家族に代わって施設等で一時的にお預かりするサービスですが、学童デイサービスと同じ内容で療育的な要点で実施してきました。</p> <p>主に学校の振替休日と長期休み期間の利用が多く、未就学が始まってからも月・水・金に日中一時を受け入れてきました。</p>							
【実施日数】							
29日（月曜～金曜 9：00～18：00）							
【利用人数】							
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
実人数		0	0	3	3	3	
延べ人数		0	0	7	16	3	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
実人数	3	2	5	4	1	7	9
延べ人数	3	2	6	4	1	10	52

【スタッフ数】  
1日平均 1～2人

2. 健常児童に対する各種福祉サービス事業

(1) 兄弟児支援事業

【実施状況】							
<p>児童デイサービス利用児の兄弟等を対象に、日中の一時保育を行うことで安心して過せる場の提供と、障害児との交流による情操教育を行いながら、ご家族の子育て支援をも提供することを目的とし実施してきました。平成22年度は年度途中からあのねキッズ、学童児の兄弟の利用希望があり受け入れてきました。</p> <p>一緒に活動に参加することによって、お互いに良い刺激となり共に成長し合えた部分が大きかったと思っております。</p>							
【実施日数】							
40日（月曜～金曜） 9：30～12：30・13：30～17：00）							

【利用人数】							
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
実人数	1	1	3	3	2	3	3
延べ人数	7	5	7	16	13	12	60

【スタッフ数】  
1日平均 1人

### 3. 付随事業

#### (1) 職員の研修に関すること

【実施状況】			
職員の資質・技能向上のために外部講習受講			
実施日	名 称	場 所	参加者
8/9・16・23・30	介護技術講習会	第1広瀬ビル	職員1人
11/9・10・11 12/6・7	サービス管理責任者養成研修 児童分野	県庁 合同庁舎	園長
12/6・13・25 1/17・24・31	子どもの「遊び」と「学び」 サポーター養成講座	利府町役場	職員1人
1/6	宮城県作業療法士会研修	東北文化学園大学	園長、職員4人
1/13	ミックスジュース子育てセミナー	利府町福祉センター	園長、職員3人
1/14	発達障害者支援セミナー	県庁	園長、職員2人
2/20	アーチル療育セミナー	アーチル	職員2人

#### (2) 職員会議に関すること

【実施状況】	
4月 5日・14日	あのねの森立ち上げに向けて
4月 21日・27日	利用者のカンファレンス
◎定例職員会議（毎月の反省、及び活動内容の検討） 全職員参加	
その他の議題	
5月	あのねだより作成について
6月	夏休みについて
7月	個別支援計画作成について
8月	未就学デイサービスについて
9月	未就学デイサービスについて、秋祭りについて
10月	秋祭りについて
11月	冬休みについて
12月	次年度の活動について
1月	次年度の年間計画について
2月	標語について
3月	※地震の為実施できず

#### (3) 防災に関すること

【実施状況】
5月20日 消防署査察。消火器、煙探知機の不足を指摘されすぐに追加設置しまし

た。

平成22年度は避難訓練を実施しませんでした。3月11日の東日本大震災時の対応には多くの問題点が確認されたので、それをふまえ、23年度はマニュアル作りと共に定期的避難訓練を実施したいと思います。

(4) 広報に関すること

**【実施状況】**

- ◎ あのねの森 パンフレットを作成
- ◎ 平成22年6月より学童デイサービス あのねの森だよりを毎月配布
- ◎ 平成22年12月より未就学デイサービス あのねキッズだよりを毎月配布

平成22年度特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

特定非営利活動法人 さわおとの森

(単位:円)

科目・摘要	金額				内訳
	さわおと	ひまわり	あのねの森	合計	
<b>I 収入の部</b>					
<b>1.会費</b>	<b>1,349,000</b>	-	-	<b>1,349,000</b>	
<b>2.事業費</b>					
児童デイサービス	33,757,228	29,626,290	15,882,033	79,265,551	
短期入所	34,016,249	-	-	34,016,249	
居宅介護関係	3,476,565	-	-	3,476,565	介護居宅・行動援護含む
市町村委託事業	6,816,000	2,656,500	-	9,472,500	日中一時支援・移動援護含む
生活介護	9,561,720	-	-	9,561,720	
独自サービス	3,935,460	1,139	136,830	4,073,429	レスパイトサービス、健常育児保育含む
小計	<b>91,563,222</b>	<b>32,283,929</b>	<b>16,018,863</b>	<b>139,866,014</b>	
<b>3.助成金</b>					
特別処遇加算事業補助金等	12,337,230	2,899,612	1,446,599	16,683,441	
固定資産に対する補助金収入	2,840,000	-	-	2,840,000	
小計	<b>15,177,230</b>	<b>2,899,612</b>	<b>1,446,599</b>	<b>19,523,441</b>	
<b>4.寄付金</b>	<b>20,275</b>	<b>5,000</b>	<b>5,000</b>	<b>30,275</b>	
<b>5.雑収入</b>					
預金利息	5,596	56	-	5,652	
その他	3,011,065	153,175	194,260	3,358,500	おやつ、食事、賄い収入
小計	<b>3,016,661</b>	<b>153,231</b>	<b>194,260</b>	<b>3,364,152</b>	
<b>当期収入合計(A)</b>	<b>111,126,388</b>	<b>35,341,772</b>	<b>17,664,722</b>	<b>164,132,882</b>	
<b>前期繰越収支差額</b>				<b>62,239,867</b>	
<b>収入合計(B)</b>				<b>226,372,749</b>	
<b>II 支出の部</b>					
<b>1.人件費</b>					
役員報酬	3,600,000	-	-	3,600,000	理事長報酬
職員棒給	22,964,827	10,938,168	8,017,168	41,920,163	正規職員報酬
職員賃金	18,930,769	5,411,450	3,155,914	27,498,133	契約・パート職員報酬
職員手当	8,152,587	3,746,310	2,489,839	14,388,736	通勤手当
法定福利費	5,793,701	1,957,878	1,141,333	8,892,912	社会保険・雇用保険・労災保険等
人件費計	<b>59,441,884</b>	<b>22,053,806</b>	<b>14,804,254</b>	<b>96,299,944</b>	
<b>2.事務費</b>					
報酬費	622,750	115,500	105,000	843,250	会計・監査謝礼等
福利厚生費	2,387,405	241,286	160,200	2,788,891	予防接種・健康診断等
研修費	238,545	10,000	26,000	274,545	社会福祉協議会他
渉外費	41,902	-	8,138	50,040	謝礼等
会議費	10,626	-	-	10,626	理事会等
旅費日当	77,960	4,000	-	81,960	研修会等旅費日当
通信費	529,538	153,519	82,146	765,203	事務用電話・切手等
消耗品費	142,053	43,030	185,774	370,857	事務用品
備品費	120,750	-	48,300	169,050	会計・請求ソフト等
新聞図書費	68,000	13,000	11,900	92,900	行動援護テキスト等
支払手数料	87,133	2,863	2,940	92,936	振込手数料
賃借料	600,000	-	241,000	841,000	土地・建物賃借料
使用料	663,717	-	-	663,717	WEB・コピー機使用料等
租税公課	473,235	200	5,200	478,635	固定資産税・印紙等
減価償却費	3,709,788	-	-	3,709,788	
諸会費	13,000	-	-	13,000	利府町等
借入金利息	62,385	-	-	62,385	日本政策金融公庫
事務費計	<b>9,848,787</b>	<b>583,398</b>	<b>876,598</b>	<b>11,308,783</b>	

科目・摘要	金額				内訳
	さわおと	ひまわり	あのねの森	合計	
<b>3.事業費</b>					
報酬費	1,864,181	150,500	10,500	2,025,181	心理判定士・作業療法士報酬費等
消耗品費	1,665,973	267,111	1,051,821	2,984,905	教材他
食料費	705,152	79,843	109,904	894,899	短期入所食材費用
修繕費	248,052	4,830	601,703	854,585	施設修繕費
燃料費	978,380	233,894	188,930	1,401,204	灯油代等
水道光熱費	984,482	300,000	133,045	1,417,527	上下水道、電気代等
保険料	4,680,879	-	100,450	4,781,329	公用車車両保険等
通信費	5,528	9,569	-	15,097	郵便・電話等
備品費	2,660,789	193,200	929,400	3,783,389	検査用具購入
車両費	2,363,086	1,403,764	295,396	4,062,246	車検、私用車代等
諸会費	3,600	-	-	3,600	町内会
支払手数料	-2,881	-304	-6,718	-9,903	
使用料	780,304	300,550	10,910	1,091,764	施設警備等
雑費	5,056	-	-	5,056	礼金・繰延資産償却
行事費	202,285	106,526	31,973	340,784	秋祭り等費用
旅費日当	11,350	-	-	11,350	研修会等旅費日当
<b>事業費計</b>	<b>17,156,216</b>	<b>3,049,483</b>	<b>3,457,314</b>	<b>23,663,013</b>	
<b>当期支出合計(C)</b>	<b>86,446,887</b>	<b>25,686,687</b>	<b>19,138,166</b>	<b>131,271,740</b>	
<b>税引前当期支出差額(A)-(C)=(D)</b>	<b>24,679,501</b>	<b>9,655,085</b>	<b>-1,473,444</b>	<b>32,861,142</b>	
<b>法人税等(E)</b>				<b>10,795,400</b>	
<b>税引後当期支出差額(D)-(E)=(F)</b>				<b>22,065,742</b>	
<b>次期繰越収支差額(B)-(C)-(E)</b>				<b>84,305,609</b>	

# 平成22年度収益事業配賦計算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

特定非営利活動法人 さわおとの森

科目・摘要	法人損益計算書	非収益項目	収益事業損益計算書
<b>I 収入の部</b>			
<b>1.会費</b>			
会費	1,349,000	1,349,000	-
<b>2.事業費</b>			
児童デイサービス	79,265,551		79,265,551
短期入所	34,016,249		34,016,249
居宅介護関係	3,476,565		3,476,565
市町村委託事業	9,472,500		9,472,500
生活介護	9,561,720		9,561,720
独自サービス	4,073,429		4,073,429
<b>3.助成金</b>			
特別処遇加算事業補助金等	16,683,441		16,683,441
固定資産に対する補助金収入	2,840,000	2,840,000	-
<b>4.寄付金</b>			
寄付金	30,275		30,275
<b>5.雑収入</b>			
預金利息	5,652		5,652
その他	3,358,500		3,358,500
<b>当期収入合計(A)</b>	<b>164,132,882</b>	<b>4,189,000</b>	<b>159,943,882</b>
<b>II 支出の部</b>			
<b>1.人件費</b>			
役員報酬	3,600,000		3,600,000
職員俸給	41,920,163		41,920,163
職員賃金	27,498,133		27,498,133
一時金	11,077,036		11,077,036
一時金	1,337,400		1,337,400
一時金	365,000		
通勤手当	1,609,300		1,609,300
法定福利費	8,892,912		8,892,912
<b>2.事務費</b>			
報酬費	843,250		843,250
福利厚生費	2,788,891		2,788,891
研修費	274,545		274,545
渉外費	50,040		50,040
会議費	10,626		10,626
旅費日当	81,960		81,960
通信費	765,203		765,203
消耗品費	371,277		371,277
備品費	169,050		169,050
修繕費	-		-
新聞図書費	92,900		92,900
諸会費	-		-
支払手数料	92,516		92,516
賃借料	841,000		841,000
使用料	663,717		663,717
租税公課	478,635		478,635
減価償却費	3,709,788		3,709,788
借入金利息	62,385		62,385
諸会費	13,000		13,000
<b>3.事業費</b>			
報酬費	2,025,181		2,025,181
消耗品費	2,984,905		2,984,905
食料費	894,899		894,899
修繕費	854,585		854,585
燃料費	1,401,204		1,401,204
水道光熱費	1,417,527		1,417,527
保険料	4,781,329		4,781,329
賃借料	-		-
備品費	3,783,389		3,783,389
車両費	4,062,246		4,062,246
諸会費	15,097		15,097
使用料	-9,903		-9,903
諸会費	3,600		3,600
使用料	1,091,764		1,091,764
雑費	5,056		5,056
行事費	340,784		340,784
旅費日当	11,350		11,350
<b>当期支出合計(B)</b>	<b>131,271,740</b>	<b>-</b>	<b>131,271,740</b>
<b>税引前当期支出差額(A)-(B)</b>	<b>32,861,142</b>	<b>4,189,000</b>	<b>28,672,142</b>

**平成22年度特定非営利活動に係る事業会計財産目録1/2**

平成 23 年 3 月 31 日 現在

特定非営利活動法人 さわおとの森

(単位:円)

科目・摘要	金額		
<b>I 資産の部</b>			
<b>流動資産</b>			
現金・預金			
さわおと現金	405,254		
ひまわり現金	94,759		
あのね現金	27,509		
七十七銀行七ヶ浜支店 No 5271002	25,957,564		
郵便貯金	5,634,816	<b>32,119,902</b>	
未収入金			
支援費市町村請求利用者負担金	22,858,346		
助成金等	11,153,493	<b>34,011,839</b>	
立替金			
さわおと	27,846		
ひまわり	26,853	<b>54,699</b>	
前払費用			
さわおと	13,290	<b>13,290</b>	
<b>流動資産合計</b>			<b>66,199,730</b>
<b>固定資産</b>			
建物			
園舎	13,555,978		
園舎増築工事	4,581,658		
駐車場屋根工事	289,275		
生活介護棟	7,909,608		
生活介護棟増築工事	2,203,740	<b>28,540,259</b>	
建物付属設備			
給排水電気設備等(園舎本体)	1,449,585		
給排水電気設備等(生活介護棟)	726,176	<b>2,175,761</b>	
構築物			
外堀	257,249		
アスファルト工事	436,509		
防護柵	1,033,594		
駐車場舗装工事	381,692		
舗装工事	1,809,129	<b>3,918,173</b>	
車両運搬具			
ルシーダ	23,738		
シエンタ	127,556		
アトレー	1		
アルト(新)	584,635		
レジアス(新)	3,583,595	<b>4,319,525</b>	
工具器具備品			
エアートランポリン	1	1	
<b>固定資産合計</b>			<b>38,953,719</b>
<b>投資等</b>			
出資金			
東北自動車共済	1,000	<b>1,000</b>	
差入保証金			
セコム(株)	20,000	<b>20,000</b>	
保険積立金			
(株)ING生命	2,042,916	<b>2,042,916</b>	
敷金			
あのねの森	170,000	<b>170,000</b>	
<b>投資等合計</b>			<b>2,233,916</b>
<b>資産合計(A)</b>			<b>107,387,365</b>

**平成22年度特定非営利活動に係る事業会計財産目録2/2**

平成 23 年 3 月 31 日 現在

特定非営利活動法人 さわおとの森

(単位:円)

<b>Ⅱ 負債の部</b>			
<b>流動負債</b>			
未払金			
平成23年3月分給与	5,128,961		
法定福利費	1,152,460		
備品費	1,327,848		
修繕費	601,703		
その他	588,093		
未払法人税等	10,795,400	<b>19,594,465</b>	
預り金			
平成23年3月 社会保険	1,495,059		
平成23年1～3月 源泉所得税	276,132		
平成23年3月 住民税	136,100		
財形貯蓄	85,000	<b>1,992,291</b>	
<b>流動負債合計</b>			<b>21,586,756</b>
<b>固定負債</b>			
長期借入金			
日本政策金融公庫 仙台支店	1,495,000	<b>1,495,000</b>	
<b>固定負債合計</b>			<b>1,495,000</b>
<b>負債合計(B)</b>			<b>23,081,756</b>
<b>正味財産(C=A-B)</b>			<b>84,305,609</b>

## 平成22年度特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

平成 23 年 3 月 31 日 現在

特定非営利活動法人 さわおとの森

(単位:円)

科目・摘要	金額	金額	金額
<b>I 資産の部</b>			
<b>流動資産</b>			
現金	527,522		
普通預金	31,592,380		
未収入金	34,011,839		
立替金	54,699		
前払費用	13,290		
<b>流動資産合計</b>		<b>66,199,730</b>	
<b>固定資産</b>			
建物	28,540,259		
建物付属設備	2,175,761		
構築物	3,918,173		
車両運搬具	4,319,525		
工具器具備品	1		
<b>固定資産合計</b>		<b>38,953,719</b>	
<b>投資等</b>			
出資金	1,000		
差入保証金	20,000		
保険積立金	2,042,916		
敷金	170,000		
<b>投資等合計</b>		<b>2,233,916</b>	
<b>資産合計(A)</b>			<b>107,387,365</b>
<b>II 負債の部</b>			
<b>流動負債</b>			
未払金	8,799,065		
未払法人税等	10,795,400		
預り金	1,992,291		
<b>流動負債合計</b>		<b>21,586,756</b>	
<b>固定負債</b>			
長期借入金	1,495,000		
<b>固定負債合計</b>		<b>1,495,000</b>	
<b>負債合計(B)</b>			<b>23,081,756</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
前期繰越正味財産(α)		62,239,867	
当期正味財産増加額(β)		22,065,742	
<b>正味財産合計(C=α+β)</b>			<b>84,305,609</b>
<b>負債及び正味財産合計(D)=(B)+(C)=(A)</b>			<b>107,387,365</b>